



2015年度  
ディスクロージャー  
上半期のご報告

J A バ ン ク 京 都 信 連

京 都 府 信 用 農 業 協 同 組 合 連 合 会

# 目 次

○地域貢献への取り組み	1
○リスク管理債権残高	4
○金融再生法開示債権区分に基づく保全状況 .....	4
○自己資本の構成	5
○主要勘定の状況	7
○収益等の状況	8
○有価証券等時価情報	8

●金額は、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。

## 【地域貢献への取り組み】

当会は、京都府を事業区域として、地元の JA 等が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の農業専門金融機関であるとともに、地域経済の活性化に資する地域金融機関です。

当会は農家組合員の皆さまの経済的・社会的地位の向上を目指し、JA との強い絆とネットワークを形成することにより JA 信用事業機能強化の支援を行うとともに、地域社会の一員として地域経済の持続的発展に努めています。

また、資金供給や経営支援などの金融機能の提供にとどまらず、環境、文化、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。

### ●地域からの資金調達の状況

当会の平成 27 年 9 月末の貯金残高（譲渡性貯金を含む）は 1 兆 1,158 億円となり、うち 1 兆 289 億円は府内 JA からお預かりしています。

### ●地域への資金供給の状況

当会の平成 27 年 9 月末の貸出残高は、874 億円となりました。

組合員をはじめ地域の皆さまからお預かりしている大切な資金は、農家組合員や農業に関連する企業、地場産業ならびに地方公共団体等においてご利用いただいています。また、農業の担い手を金融面から積極的に支援するため、(株)日本政策金融公庫の受託貸付金の活用にも努めています。

### ●地域密着型農業金融の取り組み

#### 1. 地域農業の発展、活性化支援

##### (1) 農業・農業者応援プラン

JA バンク京都では、農業・農業者・地域を支援するため、「農業・農業者応援プラン」を策定しました。「経営安定化対策」、「農業法人等活性化対策」、「就農支援対策」、「食農教育・地域貢献対策」を 4 つの柱とし、各種施策を展開しています。

##### ① JA バンク京都経営支援利子補給・保証料助成

JA の農業経営資金について、農林中央金庫が行う「JA バンク利子補給」の拡充策として、追加で利子補給を行うとともに、京都府農業信用基金協会の保証料を助成しています。

##### ② 農業経営管理支援事業利用料助成

JA が実施する、取引の記帳や決算書作成等の支援を行う「農業経営管理支援事業」にかかる利用料の一部を助成します。

##### ③ 農業法人化助成

個人・集落営農組織が法人化する時の費用負担の一部を助成します。

## (2) 農業担い手支援

各 JA に配置の担い手金融リーダーとの連携や、事業間の連携強化に取り組み、金融面からのサポートに取り組んでいます。

また、(株)日本政策金融公庫の農業経営基盤強化資金（スーパーL）や農業改良資金等の活用により、農業者の自主性と創意工夫による経営規模拡大・改善を支援しています。

## (3) JA バンク京都農業被害利子補給事業

農業経営基盤に甚大な被害を及ぼす自然災害により、農業被害を受けられた農業者等への JA 融資に対し利子補給を行い、金利負担の軽減を図ることで農業経営の復興を支援しています。

## (4) JA グループ京都担い手対応連絡協議会を通じた取り組み

当会および JA 京都中央会等で組織する連絡協議会を通じて、他の連合会と事業間連携・情報交換を行うとともに、JA グループ京都農業法人協会の会員等を訪問し、資金ニーズの把握等に努めています。

## (5) 担い手に適した資金提供手法の取り組み

農業者の資金ニーズに即し最適な資金提供ができるよう、提案型の相談対応に努めているとともに、アグリビジネス投資育成株式会社のアグリシードファンドを活用し、地域の農業発展の核となる農業法人に対する資本増強を、農林中央金庫と連携して取り組んでいます。

## (6) その他の支援

新規就農者への支援、食農教育応援事業等を農林中央金庫、京都府等関係機関と協調・連携し進め、活力ある地域農業の支援に努めています。

## 2. 農業者・中小企業等への経営支援に関する取り組み

農業者をはじめとする地域のお客さまに対して必要な資金を円滑に供給していくことを「最も重要な役割のひとつ」として位置づけ、貸付条件の変更等の相談や申込みに柔軟に対応するとともに、「経営者保証に関するガイドライン」を遵守し、お客さまと保証契約を締結する場合、また保証人のお客さまが本ガイドラインに則した保証債務の整理を申し立てられた場合にも、本ガイドラインに基づき誠実に対応し、経営改善への取り組みを支援できるよう努めています。

## 3. 農商工連携応援ファンドを通じた支援

当会は、JA 京都中央会、京都府や地元金融機関とともに「きょうと農商工連携応援ファンド」に対して資金を拠出し、府内の農林漁業者と中小企業者の密接な連携による新たな京都ブランドの創造や新たな農業ビジネス・需要の開拓を図る取り組みに対して、助成金を交付する事業の支援を行っています。

---

## ●文化的・社会的貢献に関する取り組み

### 1. 「全日本大学駅伝対校選手権」への協賛・支援

全国の JA バンクで協賛する「全日本大学駅伝対校選手権」の関西地区予選会で支援活動を行い、青少年育成支援とスポーツ振興に取り組みました。

### 2. 「年金友の会」活動支援

府内 JA で年金をお受け取りいただいている「年金友の会」会員の皆さまの、地域における様々な活動を支援しています。

また、「年金友の会ご紹介キャンペーン」を展開し、より多くの皆さまにご参加いただけるよう取り組んでいます。

### 3. 「赤い羽根定期積金」による社会福祉活動への支援

府内の社会福祉活動（高齢者や障がい者・児童への福祉活動やボランティア活動）に取り組む京都府共同募金会を支援するため、JA バンク京都では「赤い羽根定期積金」を取り扱い、年間を通じて皆さまからお預かりする定期積金契約高の0.01%を寄付します。

### 4. 年金相談会・住宅ローン相談会の開催

府内 JA の各店舗における「年金相談会」、「住宅ローン相談会」の開催を支援し、地域の皆さまの相談ニーズに応えられるよう、相談員の派遣や資材の提供などに取り組みました。

### 5. 広報活動

テレビ番組「あぐり京都」（企画・提供：JA グループ京都）、「夢追人～農に生きる～」（提供：JA バンク）やラジオ番組への協賛などを通じて、農業・農村の役割への理解や、食の安心・安全の浸透に努めています。

## 【リスク管理債権残高】

(単位：百万円)

	平成27年3月末	平成27年9月末	増	減
破綻先債権額	—	—	—	—
延滞債権額	122	118	△ 4	
3か月以上延滞債権額	—	—	—	—
貸出条件緩和債権額	—	—	—	—
リスク管理債権合計	122	118	△ 4	

## 【金融再生法開示債権区分に基づく保全状況】

(単位：百万円)

平成27年3月末	債権額	保全額	保全状況		
			担保	保証	引当
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0	0	—	—	0
危険債権	147	147	31	7	108
要管理債権	—	—	—	—	—
小計	147	147	31	7	108

平成27年9月末	債権額	保全額	保全状況		
			担保	保証	引当
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	0	0	—	—	0
危険債権	143	143	29	6	106
要管理債権	—	—	—	—	—
小計	143	143	29	6	106

(注) 平成27年3月末から9月末までの間に、債務者区分の変更が必要と認識した先については、9月末時点の債務者の状況に基づき債権区分を変更する方法により算出しています。

## 【自己資本の構成】

(単位：百万円、%)

項目	平成27年3月末		平成27年9月末	
		経過措置による 不算入額		経過措置による 不算入額
<b>コア資本に係る基礎項目 (1)</b>				
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員資本の額	57,662		59,183	
うち、出資金及び資本準備金の額	32,681		32,681	
うち、再評価積立金の額	1		1	
うち、利益剰余金の額	25,878		26,501	
うち、外部流出予定額(△)	898		-	
うち、上記以外に該当するものの額	-		-	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	3,095		3,259	
うち、一般貸倒引当金及び相互援助積立金コア資本算入額	3,095		3,259	
うち、適格引当金コア資本算入額	-		-	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	14,322		14,322	
うち、回転出資金の額	822		822	
うち、上記以外に該当するものの額	13,500		13,500	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価格の差額の45パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	75,079		76,765	
<b>コア資本に係る調整項目 (2)</b>				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。)の額の合計額	0	1	0	3
うち、のれんに係るものの額	-	-	-	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライセンスに係るもの以外の額	0	1	0	3
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	66	265	65	261
適格引当金不足額	-	-	-	-
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-	-	-
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-	-	-
前払年金費用の額	-	-	-	-
自己保有普通出資等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	-	-	-	-
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-	-	-
少数出資金融機関等の対象普通出資等の額	-	-	-	-
特定項目に係る10パーセント基準超過額	-	-	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライセンスに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-

特定項目に係る15パーセント基準超過額	-	-	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通出資等に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	-	-
うち、繰延税金資産（一時差異に係るものに限る。）に関連するものの額	-	-	-	-
コア資本に係る調整項目の額	(□)	66	66	
<b>自己資本</b>				
自己資本の額（(イ) - (ロ)）	(ハ)	75,012	76,698	
<b>リスク・アセット等（三）</b>				
信用リスク・アセットの額の合計額		339,385	343,708	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額		△ 79,597	△ 78,776	
うち、無形固定資産（のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）		1	3	
うち、繰延税金資産		265	261	
うち、前払年金費用		-	-	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー		△ 79,864	△ 79,041	
うち、上記以外に該当するものの額		-	-	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額		5,542	5,542	
信用リスク・アセット調整額		-	-	
オペレーショナル・リスク相当額調整額		-	-	
リスク・アセット等の額の合計額	(ニ)	344,927	349,251	
<b>自己資本比率</b>				
自己資本比率（(ハ) / (ニ)）		21.74%	21.96%	

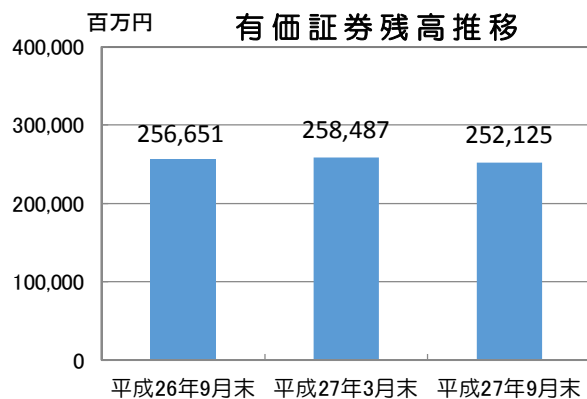
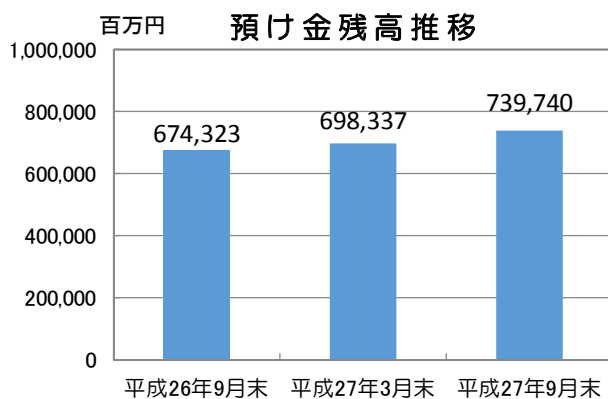
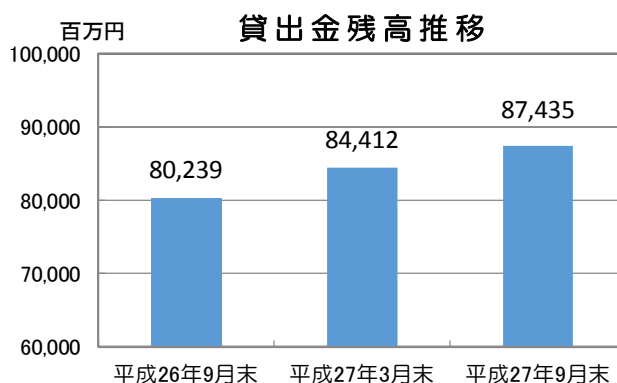
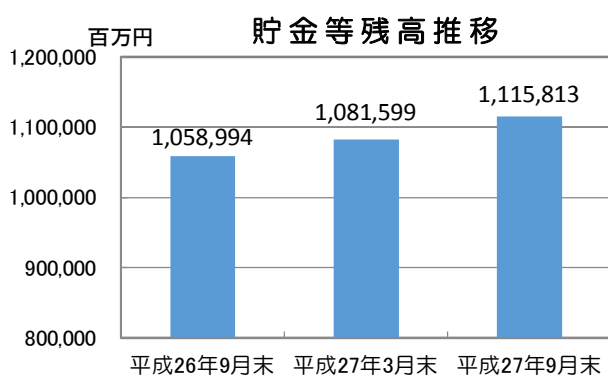


## 【主要勘定の状況】

(単位：百万円)

	平成26年9月末	平成27年3月末	平成27年9月末
貯金等	1,058,994	1,081,599	1,115,813
貸出金	80,239	84,412	87,435
預け金	674,323	698,337	739,740
有価証券	256,651	258,487	252,125

(注)貯金等には、譲渡性貯金が含まれています。



## 【収益等の状況】

(単位：百万円)

	平成25年9月末	平成26年9月末	平成27年9月末
経常収益	6,383	6,506	6,558
経常利益	2,206	2,233	2,047
当期剰余金	1,653	1,480	1,521

## 【有価証券等時価情報】

### ○有価証券

(単位：百万円)

区分	平成27年3月末			平成27年9月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売買目的	-	-	-	-	-	-
満期保有目的	39,073	39,502	429	33,738	34,116	377
その他	213,181	219,414	6,232	212,774	218,386	5,611
合計	252,255	258,916	6,661	246,513	252,503	5,989

注 平成27年9月末有価証券の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価としています。

取得価額は、売買目的有価証券については取得価額を、満期保有目的有価証券およびその他有価証券については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しております。

### ○金銭の信託

(単位：百万円)

区分	平成27年3月末			平成27年9月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
運用目的	2,500	2,499	△0	5,000	4,992	△7
満期保有目的	58,750	61,006	2,256	55,915	58,007	2,092
その他	2,000	1,981	△18	2,000	1,967	△32
合計	63,250	65,487	2,237	62,915	64,967	2,052

注 平成27年9月末金銭の信託の時価は9月末日における市場価格等に基づく時価としています。

取得価額は、運用目的金銭の信託については取得価額を、満期保有目的金銭の信託およびその他の金銭の信託については償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しております。

発行 / 平成 27 年 12 月 編集 / JA バンク京都信連 総務部

〒601-8585 京都市南区東九条西山王町 1 番地

TEL 075-681-2413 FAX 075-691-1153

URL <http://www.jabankkyoto.or.jp/s/>